

沖縄海邦銀行

第74期 営業のご報告

2020年4月1日から2021年3月31日まで
(2021.3 ミニディスクロージャー誌)



OKINAWA
KAIHO

当行の概要 (2021年3月31日現在)

創 立	1949年5月1日
設 立	1964年4月2日
資 本 金	45億37百万円
本 店	〒900-8686 沖縄県那覇市久茂地2丁目9番12号 電話番号 (098) 867-2111 (代表)
店 舗 数	50店舗 (うち出張所2店舗)
従 業 員 数	866名
株 主 数	2,312名
ホームページアドレス	https://www.kaiho-bank.co.jp

CONTENTS (目次)

ごあいさつ	… P 1
第16次中期経営計画	… P 2
トピックス	… P 4
かいぎんSDGs宣言	… P 5
1.自然環境の保全	… P 6
2.地域経済の発展、持続的な成長	… P 8
3.地域社会の活性化	… P 10
業績ハイライト (単体)	… P 12
第74期財務諸表 (単体)	… P 14
第74期財務諸表 (連結)	… P 15
役員、株式のご案内	… P 16
かいぎんのネットワーク	… P 17



代表取締役頭取 新城一史

ごあいさつ

皆さまには、平素より私ども沖縄海邦銀行を御利用いただき、心より御礼申し上げます。

この度、頭取に就任した新城一史でございます。これからも行員一丸となり地域の発展に貢献してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、ここに2020年度（74期）の営業の概況と決算状況についてご報告申し上げます。当行について、より一層のご理解をいただくための参考となれば幸いに存じます。

2020年度の国内経済情勢につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益が大幅に減少するなど厳しい状況で推移しました。非接触型営業や飛沫防止対策を講じることで経済活動の継続が行われてきましたが、度重なる緊急事態宣言の発令等、感染症への警戒感が強く、景気の先行きが不透明な状況が続きました。

県内景気についても、感染症の影響により2020年度の入域観光客数が対前年比で過去最大の減少となるなど、観光関連産業は甚大な被害を受けました。国内観光客については一時持ち直しの動きが見られていましたが、行楽やイベント自粛等により、県内経済全体に影響を及ぼしました。

当行はこのような環境のもと、2020年度より第16次中期経営計画「継続と深化」（2020年4月～2022年3月）をスタートいたしました。「安定した経営基盤の確立」「金融サービスの強化」「人と組織の強化」を基本方針とし、お客さま本位の良質な金融サービスを提供するため、時代にあった営業態勢や組織体制へ大きく深化することを目指しています。

国内外および県内の情勢については、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、回復には時間を要すものと思われまます。そうした厳しい経済状況においても、当行は適切な資金供給のほか、支払条件緩和の対応、各種補助金の申請支援等、中小企業・小規模事業者を中心としたお客さまの支援を継続・深化し、地域経済の回復・発展に取り組んでまいります。

その結果、経営理念である「地域密着」「健全経営」「人材育成」を具現化し、安定した経営基盤と収益を確保しつつ、お客さまや地域の成長と発展に寄与します。

これからも時代や環境の変化に迅速に対応し、常にお客さまの立場で考え、「お客さまのお役に立てる一番身近な銀行」を目指してまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも、なお一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2021年6月

第 16 次中期経営計画 (2020 年 4 月～ 2022 年 3 月)

第 16 次中期経営計画では、前中期経営計画で確立したビジネスモデルをベースに、お客さま本位の良質な金融サービスを提供するため、時代にあった営業態勢や組織体制へ大きく深化することを目指します。

キャッチフレーズ

継続と深化

当行の目指す姿

「お客さまのお役に立てる一番身近な
銀行(コンサルティングとICTの融合)」

基本方針・重点施策

当行の将来を見据え、
持続可能性のある
ビジネスモデルを確立する

I 安定した経営基盤の確立

1. 収益構造の改善
2. コンプライアンス・リスク管理の強化
3. 内部監査態勢の強化

II 金融サービスの強化

1. 金融仲介機能と顧客本位業務の発揮
2. かんたんペナリの実現

III 人と組織の強化

1. 営業態勢の見直し・強化
2. 人事態勢の整備
3. 人材育成
4. かいざんブランドの浸透



経営理念

地域
密着

健全
経営

人材
育成

ブランドビジョン

Beyond the Bank

あなたの明日へ

当行の目指す姿

『お客さまのお役に立てる
一番身近な銀行

(コンサルティングと ICT の融合)』



基本方針

I

安定した
経営基盤の
確立

II

金融サービスの
強化

III

人と組織の
強化

トピックス

新CM「うたエール」編放送スタート

イメージガールの池間夏海さんが出演する当行の新CMが放送開始となりました。
「うたエール」編として、コロナ禍でがんばっている人を夏海さんが歌って応援します。
「立ち止まってなんかいけない」のキャッチコピーは、当行が現状に留まらず「新しい時代を支えるサポートを全力で行う」ことを宣言しています。



相続相談センターOPEN

2020年12月14日「相続相談センター 首里」「相続相談センター ぎのわん」がオープンしました。
当センターは「相続手続の相談・受付」に特化した店舗であり、お客様のプライバシーに配慮した、相談しやすい店舗となっております。



＜相続相談センター首里＞ TEL:098-988-0039



＜相続相談センターぎのわん＞ TEL:098-943-2221



かいぎん SDGs 宣言

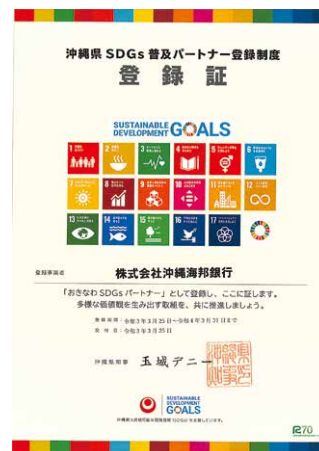
かいぎんSDGs宣言

沖縄海邦銀行は、経営理念である「地域密着」「健全経営」「人材育成」のもと、SDGs(持続可能な開発目標)の趣旨に賛同し、「みどりの銀行」として環境保全に継続的に取り組み、地域金融機関の役割・特性を活かして地域経済の持続的な成長と、地域社会の活性化に貢献することで、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

「おきなわSDGsパートナー」に登録されました

「おきなわSDGsパートナー」とは沖縄県がSDGsの普及啓発に取り組むことを目的に、県民に向けたSDGsの普及活動を行う企業(団体)を募集する『沖縄県SDGsパートナー登録制度』で認定を受けた企業です。

当行のこれまでの社会貢献活動の実績と、SDGsの取組み姿勢が評価され、2021年3月25日登録式がオンラインで行われました。



SDGsとは

SDGs (Sustainable Development Goals) とは「持続可能な開発目標」のことです。

2015年に国連で採択され、「誰一人取り残さない」という理念のもと、2030年までに持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットで構成されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



かいぎんSDGs宣言 1.自然環境の保全

- 「みどりの運動」を継続し、緑化推進、環境保全の啓発に貢献します。
- 「チーム美らサンゴ」への参加や海浜清掃活動を通して、海洋環境の改善に努めます。



みどりの運動

当行は、1974年から長年に亘り「みどりの運動」を展開しています。「沖縄をみどりの島に！緑と花で心にやすらぎを！」のキャッチフレーズで、郷土に緑と花を増やし、安らぎのある街づくりに取り組んでいます。

みどりの募金

役職員からの募金のほか、みどりの運動に賛同してくださったお客さまからの募金の寄付活動を行っています。みどりの募金への寄付は、みどりの運動が発足した1974年から46年間に亘り続けています。

2020年12月11日、84回目となる寄付を行い、これまでの募金総額は1億1,100万円となりました。

お客さまや役職員などから寄せられたご厚意は、さまざまな緑・森林づくりに活用されています！



育樹活動

2020年11月28日、糸満市の沖縄県平和創造の森公園内に造成された「かいぎん平和の森」において第4回目の育樹祭を開催しました。



寄付型自動販売機設置

売上の一部を「緑の募金」に寄付する「寄付型自動販売機」を当行本店ビル9階に設置しました。今後も寄付型自動販売機を順次増設し、「緑の募金」に貢献していきます。



沖縄花のカーニバル2021へ寄贈

2021年1月13日、第38回沖縄花のカーニバル2021「プランター贈呈式」が開催され、プランター100鉢を寄贈しました。



「チーム美らサンゴ」への参加

2004年より「チーム美らサンゴ」に参加し、サンゴ礁の再生・保全活動に取り組んでいます。

語呂合わせで「サンゴ」にちなんだ2021年3月5日、恩納村の久良波海岸と真栄田漁港のビーチクリーンに参加しました。



世界自然遺産応援プロジェクトに共催

やんばるの豊かな森などを含む地域の世界自然遺産登録に向けた機運醸成を図ろうと、世界自然遺産応援プロジェクト「喜多郎コンサート in やんばる」に共催団体として参加しました。世界的なキーボード奏者、喜多郎氏をお招きしWEB配信による音楽イベントを開催いたしました。

かいぎんSDGs宣言 2.地域経済の発展、持続的な成長

▶お客さまの企業ステージごとの経営支援およびソリューション活動に注力し、地域経済の発展と持続的な成長を支援します。

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



TBBの活動について

当行では「お客さまのお役に立てる一番身近な銀行」を実現するため「Team Beyond the Bank」(TBB)を結成しています。これまでの銀行業務の枠組みを超えた新しい形での顧客支援・紹介活動に取り組んでいます。



TBB
メンバーによる
顧客訪問



金融人材養成
プログラムへの参加



TBBニュースの発行
(行内向け当行取引先紹介)



かいぎんBigAdvance導入

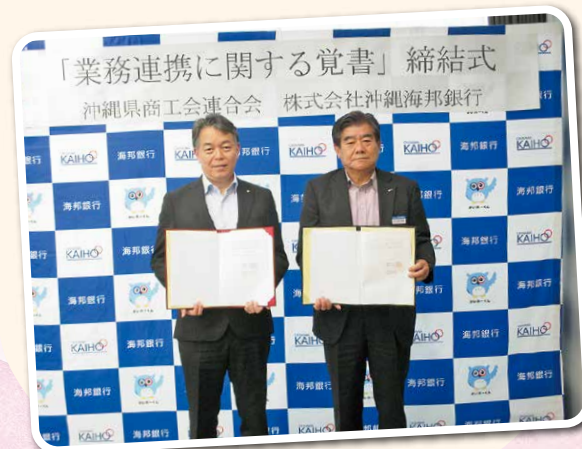
お客さまの企業価値向上のため、経営支援プラットフォーム「かいぎんBigAdvance」の取扱いを開始いたしました。本サービスの提供を通して、お客さまの販路拡大、福利厚生充実、業務効率化など様々な経営課題解決をサポートします。



沖縄県商工会連合会との 「業務連携に関する覚書」締結

2020年12月23日、沖縄県商工会連合会との連携協定を締結しました。

本連携は、県内における中小企業・小規模事業者の経営支援に向けた取組みなどについて両者間の連携を円滑にし、相互の協力をもって事業者への支援促進を行うことを目的としています。本連携を通して県内経済の活性化を図ってまいります。



新型コロナウイルス感染拡大に伴う各種相談受付体制の充実

当行では新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けられた、または今後影響を受ける可能性のある事業者さま及び個人のお客さまに対し支援を行っています。

資金繰りや支払方法の変更などのサポートを行っておりますので、お取引店又は最寄りの営業店までご相談ください。

【2020年4月～2021年3月新型コロナ関連対応実績】

新規融資 2,647件 391億円

条件変更 1,326件 471億円



かいぎんSDGs宣言 3.地域社会の活性化

- 地域に密着した社会貢献活動を通し、地域の課題解決や産業振興、コミュニケーションの活性化に寄与します。
- 沖縄の文化・伝統やスポーツの振興を支援し、豊かな社会環境の構築に貢献します。



首里城うむいの燈プロジェクト

首里城復興を願う気持ちを沖縄の元気に変えようと県内企業14社の共催で「首里城うむいの燈プロジェクト」が始動しました。モニュメントやウォーキングイベントなどを通して首里城と沖縄を明るく照らします。



「首里城復興支援募金」寄付

2020年10月22日、首里城の一日も早い復興に向け県民の皆さまのご協力を頂きながら共に支援することを目的に、「首里城復興支援募金」300万円を沖縄県へ寄付いたしました。



かいぎんサンタプレゼント

2020年12月22日～12月25日、社会福祉施設など16施設に、当行お取引先が製造・販売する「沖縄県産ブランド豚の豚肉詰め合わせセット1,000個」「焼き菓子セット1,000個」をクリスマスプレゼントとしてお届けしました。



八重山支店、ユニフォームを着て 千葉ロッテマリーンズを応援

毎年石垣島で春季キャンプを開催している千葉ロッテマリーンズを応援しようと、八重山支店では全行員が同チームのユニフォームを着用して業務にあたり、地域金融機関としてキャンプを盛り上げました。



具志川商業高等学校へ寄付金を贈呈

2021年2月1日、第93回選抜高等学校野球大会への出場が決定した具志川商業高等学校に対し、派遣費用の助成として当行および海銀ボランティア基金(海邦コーラル倶楽部)から50万円の寄付金を贈呈いたしました。

沖縄海邦銀行杯争奪中学校軟式野球大会

2021年3月9日、「第28回沖縄海邦銀行杯争奪中学校軟式野球大会」への協賛金50万円を贈呈いたしました。スポーツを通して地域振興・青少年の健全な育成を目的に、1994年より毎年協賛しています。



業績ハイライト（単体）

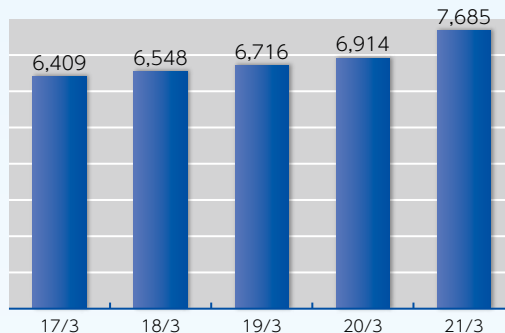
預金

7,685 億円

預金残高は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済・社会活動が制限され、個人消費が控えられたことや、事業者が手元資金を厚くしたことなどから、個人預金、法人預金ともに増加し、前年比771億17百万円増加の7,685億40百万円となりました。

預金期末残高

(単位:億円)



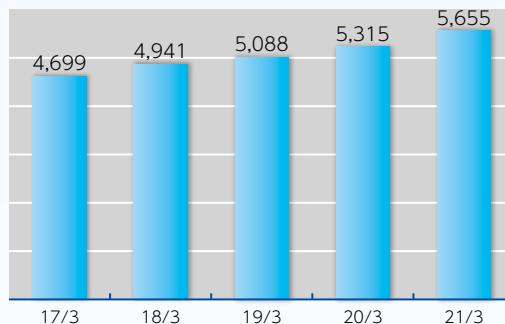
貸出金

5,655 億円

貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症関連融資制度への対応により事業性貸出が増加したことなどから、前年比340億12百万円増加の5,655億68百万円となりました。

貸出金期末残高

(単位:億円)



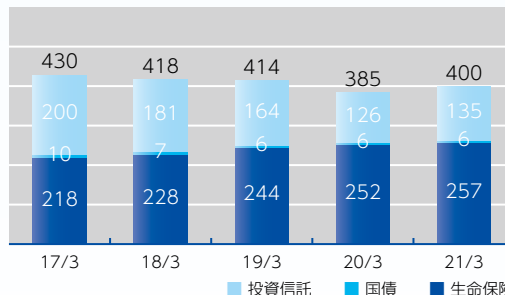
預かり資産

400 億円

預かり資産残高は、投資信託、生命保険および国債いずれも増加しました。その結果、前年比15億15百万円増加の400億60百万円となりました。

預かり資産期末残高

(単位:億円)



※記載金額は億円単位未満を切り捨てて表示しております。

経常利益

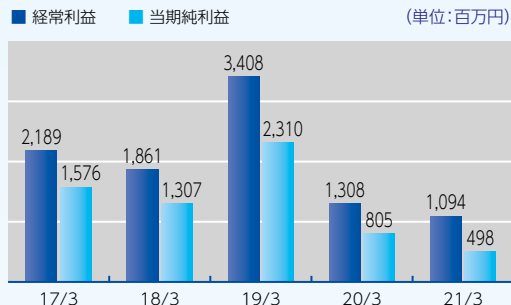
10 億円

経常利益は、与信関係費用の増加などから、前年比2億14百万円減少の10億94百万円となりました。当期純利益は前年比3億7百万円減少の4億98百万円となりました。

当期純利益

4 億円

経常利益・当期純利益

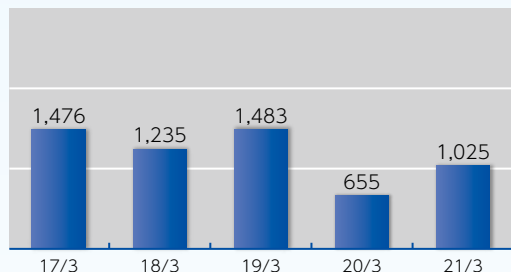


コア業務純益

10 億円

コア業務純益は、システム関連経費の減少などから、前年比3億70百万円増加の10億25百万円となりました。

コア業務純益

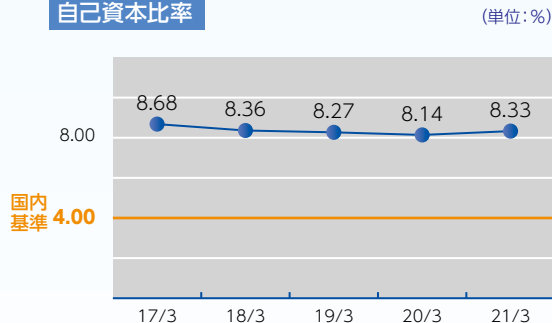


自己資本比率

8.33%

自己資本比率は、利益を積み上げたことから前年比0.19ポイント上昇の8.33%となりました。国内基準の4%を上回っており、安定した経営基盤を確保しています。

自己資本比率



用語解説

■コア業務純益

預金や貸出金、為替業務などであげた利益(業務純益)から「一般貸倒引当金繰入額」や「国債等債券損益」などの影響を除いたものがコア業務純益となります。銀行の本来の業務から得られる利益を示すものです。

■自己資本比率

資産に対する自己資本の割合を示すもので、金融機関の財務内容の健全性を判断する重要な指標となっています。現在、当行のように海外に店舗を持たない銀行においては、その数値が4%以上であることが求められています。

第 74 期財務諸表（単体）

貸借対照表（2021年3月31日）

（単位:百万円）

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	122,336
コールローン	1,029
有価証券	147,671
貸出金	565,568
外国為替	1,644
その他資産	11,786
有形固定資産	8,386
無形固定資産	1,178
前払年金費用	438
支払承諾見返	1,117
貸倒引当金	△ 2,364
資産の部合計	858,793
(負債の部)	
預金	768,540
借入金	40,000
外国為替	69
その他負債	4,118
賞与引当金	354
退職給付引当金	316
役員退職慰労引当金	221
睡眠預金払戻損失引当金	42
偶発損失引当金	127
繰延税金負債	389
支払承諾	1,117
負債の部合計	815,297
(純資産の部)	
資本金	4,537
資本剰余金	3,219
利益剰余金	33,112
自己株式	△ 26
株主資本合計	40,843
その他有価証券評価差額金	2,652
評価・換算差額等合計	2,652
純資産の部合計	43,495
負債及び純資産の部合計	858,793

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書（2020年4月1日から2021年3月31日まで）

（単位:百万円）

科 目	金 額
経常収益	12,897
資金運用収益	10,640
うち貸出金利息	9,815
うち有価証券利息配当金	772
役務取引等収益	1,222
その他業務収益	39
その他経常収益	995
経常費用	11,803
資金調達費用	139
うち預金利息	136
役務取引等費用	1,147
その他業務費用	14
営業経費	9,330
その他経常費用	1,171
経常利益	1,094
特別利益	3
特別損失	141
税引前当期純利益	956
法人税、住民税及び事業税	330
法人税等調整額	126
法人税等合計	457
当期純利益	498

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第74期財務諸表（連結）

連結貸借対照表（2021年3月31日）

（単位：百万円）

科 目	金 額
（資産の部）	
現金預け金	122,336
コールローン及び買入手形	1,029
有価証券	147,587
貸出金	565,568
外国為替	1,644
その他資産	11,839
有形固定資産	8,386
無形固定資産	1,179
退職給付に係る資産	730
繰延税金資産	1
支払承諾見返	1,117
貸倒引当金	△ 2,364
資産の部合計	859,056
（負債の部）	
預金	768,389
借入金	40,000
外国為替	69
その他負債	4,124
賞与引当金	358
退職給付に係る負債	283
役員退職慰労引当金	223
睡眠預金払戻損失引当金	42
利息返還損失引当金	10
偶発損失引当金	127
繰延税金負債	486
支払承諾	1,117
負債の部合計	815,232
（純資産の部）	
資本金	4,537
資本剰余金	3,219
利益剰余金	33,179
自己株式	△ 26
株主資本合計	40,910
その他有価証券評価差額金	2,652
退職給付に係る調整累計額	228
その他の包括利益累計額合計	2,880
非支配株主持分	33
純資産の部合計	43,824
負債及び純資産の部合計	859,056

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書（2020年4月1日から2021年3月31日まで）

（単位：百万円）

科 目	金 額
経常収益	12,959
資金運用収益	10,640
うち貸出金利息	9,815
うち有価証券利息配当金	772
役務取引等収益	1,287
その他業務収益	39
その他経常収益	991
経常費用	11,857
資金調達費用	139
うち預金利息	136
役務取引等費用	1,149
その他業務費用	14
営業経費	9,337
その他経常費用	1,216
経常利益	1,101
特別利益	3
固定資産処分益	3
特別損失	141
固定資産処分損	6
減損損失	135
税金等調整前当期純利益	964
法人税・住民税及び事業税	332
法人税等調整額	126
法人税等合計	458
当期純利益	505
非支配株主に帰属する当期純利益	0
親会社株主に帰属する当期純利益	504

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結包括利益計算書

（2020年4月1日から2021年3月31日まで）

（単位：百万円）

科 目	金 額
当期純利益	505
その他の包括利益	356
その他有価証券評価差額金	63
退職給付に係る調整額	292
包括利益	861
親会社株主に係る包括利益	860
非支配株主に係る包括利益	0

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結される子会社 2社

株式会社海邦総研

かいぎんカード株式会社

役員、株式のご案内

役員 (2021年6月24日現在)

代表取締役会長	うえ	ち	えい	ゆう
	上	地	英	由
代表取締役頭取	しん	じょう	かず	ふみ
	新	城	一	史
代表取締役専務	あら	かき		じゅん
	新	垣		淳
常務取締役	こ	じょう	せい いちろう	
	湖	城	誠一郎	
常務取締役	おお	しろ	まさ	と
	大	城	昌	人
取締役	さき	はら	まさ	き
	崎	原	正	樹
取締役	あら	かき		まなぶ
	新	垣		学
取締役	みや	お	なお	こ
	宮	尾	尚	子
取締役	にし	ざと	よし	あき
	西	里	喜	明
常勤監査役	かね	しろ	けん	ゆう
	兼	城	賢	雄
監査役	おお	みね		みつる
	大	嶺		満
監査役	う え ず	とも	かず	
	上江洲	智	一	

(注) 取締役 宮尾 尚子及び取締役 西里 喜明は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

(注) 監査役 大嶺 満及び監査役 上江洲 智一は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

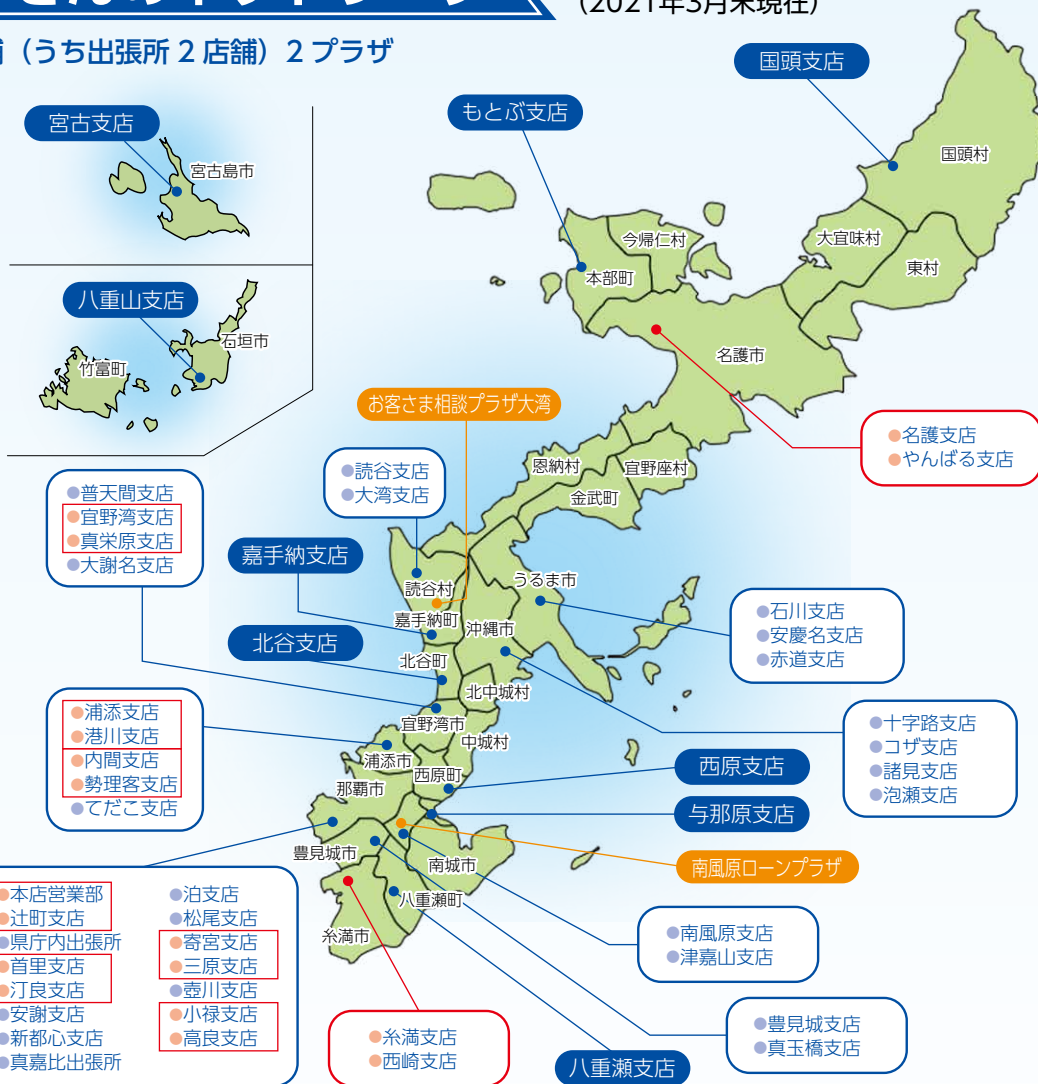
株式のご案内 (2021年3月31日現在)

決 算 日	毎年3月31日に決算を行います。
定 時 株 主 総 会	毎年決算日の翌日から3ヶ月以内に開催いたします。
配 当 金 支 払	利益配当金は毎年3月31日現在の株主名簿に記載の株主または登録質権者に定時株主総会終了後、ご指定の方法によりお支払いいたします。 また、中間配当を行う場合は取締役会の決議により、9月30日現在の株主名簿に記載された株主または登録質権者に対しお支払いいたします。 なお、配当金のお受取りには、お近くの当行本支店の預金口座への振込をご指定くださいますと速くて便利です。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同 取 次 所	三井住友信託銀行株式会社 全国本(各)支店
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)
株式取扱手数料	株式名義書換…無料 不所持申出株券の発行または返還…株券1枚につき300円 新株券交付…株券1枚につき300円

かいぎんのネットワーク

(2021年3月末現在)

50 店舗（うち出張所 2 店舗） 2 プラザ



●△△支店 ・ ●△△支店 …店舗内店舗実施店

店舗内店舗とは

複数の営業店が1つの建物を併用して営業を行う店舗形態です。移転する店舗(子店)は廃止にならないため、移転後も店名・店番・口座番号の変更はございません。移転先の店舗(母店)の窓口は共通窓口として、いずれの支店のお取引も可能です。

プラザのご案内

南風原ローンプラザ：☎0120-07-4780

お客さま相談プラザ大湾：☎0120-61-8560

○盗難・紛失などのトラブルはここにお電話ください

沖縄海邦銀行ATM監視センター【24時間対応】 0120-811-335

<https://www.kaiho-bank.co.jp>

2021年6月発行

株式会社 沖縄海邦銀行 総合企画部

〒900-8686 沖縄県那覇市久茂地2-9-12 Tel.098-867-2112

Beyond the Bank

あなたの明日へ



UD
FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた
見やすいデザインの文字を採用しています。